

問1. 次のア〜クにあてはまる最もふさわしいことばを入れて文章を完成させなさい。

- -5 、 -0.2 、 $-\frac{1}{3}$ ように、0より小さい数を（ア）という。
- 自然数は（イ）ともいう。
- 「 $+3$ をひく」ことは、「（ウ）」ことと同じ意味である。
- 数直線上で0に対応する点を（エ）という。
- 同じ数をいくつかかけ合わせたものを、その数の（オ）という。
- 加法、減法、乗法、除法をまとめて（カ）という。
- ある条件にあてはまるものを、ひとまとまりにして考えるとき、そのまとまりを（キ）という。
- 式の中の文字を、数でおきかえることを、文字にその数を（ク）するという。

問2. 次の各問いに答えなさい。

(1) 次の数を求めなさい。※解答には必ず符号をつけること。

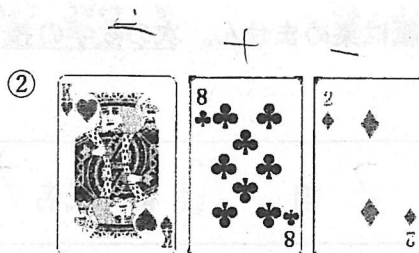
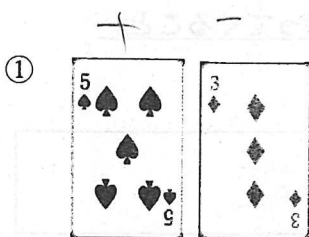
- ① 0より7小さい数。 ② 2より-9小さい数。

(2) -3 、 0 、 $+100$ 、 -0.9 、 4 、 3.2 、 $-\frac{2}{5}$ の中で自然数、負の数を答えなさい

(3) 次の式の項をすべて答えなさい。

- ① $(+7) - (-9) - (+1)$ ② $4 - 5 + 10$

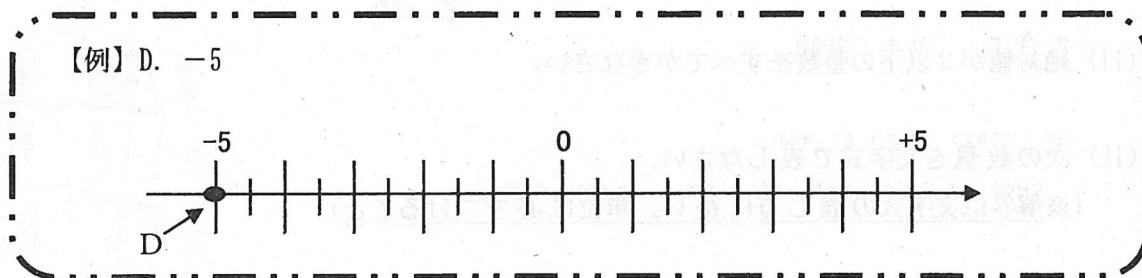
(4) トランプで、♠と♣に書かれた数字を正の点数、♥と♦に書かれた数字を負の点数とする。以下の①、②のように数枚のカードをもっている時のカードの合計点数を求めなさい。(注意：トランプで「K」は13を表します)



13

(5) 次の数A～Cを【例】を参考に、解答用紙の数直線上に表しなさい。

A. -2 B. $+\frac{5}{2}$ C. -3.5



(6) 次の数の大小を答えなさい。※解答用紙には不等号だけを書くこと

① $-5 \square +4$ ② $-0.3 \square -\frac{1}{3}$

(7) $(-5) - (-3)$ を加法の形に直してから計算した。ア～クの空欄を埋めなさい。
○には符号を、□には数を入れなさい。

$$\begin{aligned}
 &(-5) - (-3) \\
 &= (-5) + (\text{ア} \square \text{イ}) \\
 &= \text{ウ} (\square \text{エ} \text{オ} \square \text{カ}) \\
 &= \text{キ} \square \text{ク}
 \end{aligned}$$

2 14
8 - (+1)

(8) 次の文が正しいければ○、正しくなければ×を書きなさい。

- ① 自然数から自然数をひいた差は、いつでも自然数になる。
- ② 整数を自然数でわった商は、いつでも整数になる。
- ③ 整数に整数をかけた積は、いつでも整数である。
- ④ 自然数から整数をひいた差は、いつでも整数になる。

8

(9) 24を素因数分解しなさい。

(10) 次の①、②の問いに答えなさい。

① 36と90の最大公約数を求めなさい。

② 18と28と42の最小公倍数を求めなさい。

(11) 絶対値が3以下の整数をすべてかきなさい。

(12) 次の数量を文字式で表しなさい。

(※解答は文字式の表し方に従い、単位は必ずつけること)

① 1個 x 円の品物7個を買ったときの代金。

② 千円札1枚で a 円の品物を買ったときのおつり。

③ 縦が x cm、横 y cmの長方形の周りの長さ。

④ 3人の体重が、それぞれ x kg、 y kg、 z kgのとき、3人の体重の平均。

(13) $x=3$ 、 $y=-4$ のとき、次の式の値を求めなさい。

① $5x+2y$

② $\frac{x-y}{3}$

問3. 次の計算をしなさい。

(1) $(+5)+(-2)$

(2) $(-9)-(-4)$

(3) $3-(+6)-(+8)$

(4) $\left(-\frac{2}{3}\right)+\left(+\frac{1}{4}\right)$

(5) $(-2)\times(+7)$

(6) $(-0.6)\times(-0.4)$

(7) $(+20)\div(-5)$

(8) $(-30)\div(-8)$

(9) $\frac{9}{14}\div\left(-\frac{12}{7}\right)$

(10) $16\div(-2)^2$

(11) -3^2+12

(12) $4-(-4)^2$

問4. 次の計算をなさい。

(1) $7 + 2 \times (4 - 8)$ (2) $(-5)^2 + 16 \div (-2^3)$ (3) $\left(\frac{2}{3} - \frac{3}{4}\right) \div \frac{1}{3}$

(4) $\frac{1}{12} - \left(+\frac{3}{10}\right) \div \frac{6}{5}$ (5) $-\frac{2}{5} \times \frac{15}{-8} \div \left(-\frac{9}{8}\right)$ (6) $12 \div (-1)^6 \div 48 \times (-15)$

問5. 田辺君はバスケットボールの試合で20得点することを目標にしている。下の表は、月曜日から土曜日までの試合で田辺君がとった点数が目標より何点多かったかを表したものである。田辺君の月曜日から土曜日までの間にとった点数の平均を求めなさい。

曜日	月	火	水	木	金	土
目標点数との違い(点)	-5	-3	-9	+4	-2	+6

問6. 3つの数 a, b, c が次の①～③の条件を満たすとき、 a, b, c はそれぞれ「正」か「負」のどちらか答えなさい。※解答用紙には「正」もしくは「負」を書きなさい。

① $a \div b \div c < 0$ ② $c \times a < 0$ ③ $a > b$

問7. 次の2つの式を、分配法則を用いて解きなさい。途中式は省略せずに解答用紙にしっかり記入しなさい。

① $12 \times \left(\frac{1}{3} - \frac{3}{4}\right)$ ② $79 \times (=3.21) - 69 \times (-3.21)$

問8. あめ252個、ガム90個を、できるだけ多くの子どものに、それぞれ同じ数ずつ配りたい。あめもガムも余らないように配るとき、何人の子どもに配ることができすか。また、そのときの1人あたりのあめとガムのそれぞれの個数も求めなさい。

問9. 1188にできるだけ小さい自然数をかけて、ある自然数の2乗になるようにしたい。どんな自然数をかければよいのか求めなさい。